

平成28年10月24日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	益田県土整備事務所	氏名	池田 有士
派遣先 団体名	NPO法人 息域スペース ポコ・ア・ポコ		
<p>① 研修の日時 平成28年9月6日(火)～8日(木)、14日(水)、15日(金) 9:00～16:00</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none">・1日目 自己紹介、共同作業(自主製品の作成)、音楽療法・2日目 共同作業、市内の関係施設や事業所の見学・3日目 ポコ・ア・ポコの成り立ちや、社会福祉等についての説明、共同作業・4日目 共同作業、生け花体験・5日目 共同作業、研修の振り返り <p>息域スペース ポコ・ア・ポコは、ノーマライゼーション(障がいのある人もない人も同じ地域の中で一人の人間として生きていくことが「当たり前の社会」である)の考えを基本理念に、一人ひとりの「生きる」スペースを作るため、地域の中での居場所づくりやQOL(生活の質)を高めることを基本に活動されている。</p> <p>今回の研修では、「障がいを持つ人から学ぶ」をテーマに、ポコ・ア・ポコでの共同作業(自主製品の作成)や文化活動(音楽療法や生け花)などを通して、障害や福祉に対する理解を深めるとともに、地域の社会福祉の現状を学んだ。</p> <p>○共同作業 自主製品である「ふきとりーな」(ウェス製品)などを作成した。数種類ある自主製品はひとつひとつが手作業で作られており、ポコ・ア・ポコの玄関先や、合庁の売店などで1つ100円から販売されている。どれも実用的な製品で、油を吸い取る「吸油玉」や三角コーナーにつける「みずすまし」は私も愛用させていただいている。</p> <p>○文化活動(音楽療法、生け花) 月に数回講師を招き実施されており、研修中に利用者の皆さんと一緒に体験させていただいた。音楽療法は先生とともに音楽に合わせたゲームやリトミックを行った。生け花は自分の自由な発想で作成することを重視しつつ、華道の先生からより美しく見えるアドバイスもいただいた。</p>			



③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

ポコ・ア・ポコでの研修は、平成25年度に続いて2回目の参加でした。

前回は現場を知ろうという意識で訪問しましたが、その時にポコ・ア・ポコの「ゆったり息のできる」「生きる域」という考え方に共感しました。そこで、人にとって、そして自分にとってのそんなスペースについてもっと考えてみたいと思い、2回目の訪問を決めました。

利用者の皆さんと一緒に作業、音楽療法、生け花などをしながら、たくさん話をしていると、この場所で皆さんがそれぞれのペースで過ごしていらっしゃり、皆さんの「ゆったり息のできる」スペースになっていると感じました。そのスペースが私にとっても居心地がよく、また、前回訪問したことも覚えてくださったので、皆さんとの距離が前回からさらに近くなったように感じました。

ポコ・ア・ポコの役割として、支援機関や医療などの様々な専門分野を知り、それらを結びつけるボンド・クッション役ということを伺いました。それが自分の仕事や考え方にもつながるところがあり、共感しつつ、改めて自分の居場所・役割を考えることができました。

2回目の訪問だからこそ、自分の中で気づくことがたくさんありましたので、これからも自分にとって、そして生きる人たちみんなにとっての「ゆったり息のできる」「生きる域」について考え、その実現に向けて公私ともに行動していきたいと思います。

最後になりましたが、ポコ・ア・ポコの皆さん、本当にお世話になり、ありがとうございました。また皆さんのお顔を拝見しに行き、吸油玉やみずすましを買わせていただきます。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)